に視察。
・三月事務局機構が改編され、十一部からなる事務局が新発足。
・同三月第十五回国体は、熊本県で開催することに正式決定。
・七月準備委員会が実行委員会に切換えられた。
・開備準備に万全を期するため八月より逐次各専門委員会が発足。
・同九月、東国体総務主事、竹田日本体協主事が来熊、各開催予定地を視察準備の進め方につき指導が行われた。
・九月・十月東京で開催された第十四回国体には、県事務局、各開催地事務局からも開催状況を視察し、熊本国体運営上の大きな収穫を得た。
・同十一月、常任委員会で、各種準備要項、参加章図案、県民の歌を決定。
又、県民の歌と同時に公募した国体用県旗図案も新春早々決定した。

なお、問題種目として、たゞ一つ残されていたフェンシングが昨年未飽託郡北部村で、全村一致の議決をもつて開催申請が提出され、ヨット競技を除き全種目を開催できることになつた。

財務関係では、三十四年経費は、全額県費から支出されたが、三十五年度は前年度に比べて相当多額の経費がかゝるので、その一助として、西日本宝くじの増収をはかり、その増収分を国体関係経費に充てるため宝くじ発売の専用ボックスを作り県民の協力をお願いしている。

＊

それでは、準備態勢の実態をそれぞれ各部門毎に検討しながら、当面する問題点を探つてみることにしよう。

施設

夏季大会にそなえて……■

県営プールも竣工…★

まづ施設関係では、夏季大会に備えてすでに、昨年八月、多年懸案だつた県営熊本城プールの完成をみた。そして、第十四回県民体育祭夏季大会も開催されたが、来る国体開催には三、〇〇〇人収容の仮設スタンドや仮設便所等を設けることになつている。また、今年の三月末までに北側の固定スタンド外柵、苑路の一部を設け、坪井川沿いに緑地帯をつくり都市公園施設が計画されている。さらに国体終了後は、プール前広場と児童遊戯施設を建設省の協力を得て整備する予定である。

以上のように、プールを中心とした、熊本城綜合公園の造成は、市街中心部に恒久厚生施設を残すものとしてその意義は大きいと思われる。

熊高プールの改造も……★

既設の熊高プールは水泳競技場として国体に使用する予定だが水球競技には現在の一一五ー一四〇糎では水深が不足するので一五〇糎以上に深くするよう目下改造設計中でこの三月までには完了する予定で、この夏までに更衣室・シャワー・便所等を建設することになつている。

漕艇競技場の充実へ……★

漕艇競技場は八代郡上松求麻村、百済来村の荒瀬ダム上流球磨川で行われるが昨年七月ナックルフォア四隻を購入し艇庫も四九・二坪木造平家建亜鉛鉄板葺と二・六坪の便所を設け、すでに県漕艇協会に貸与し、選手強化に役立つている。

秋季大会にそなえての……■

各開催地の施設は……

熊本市

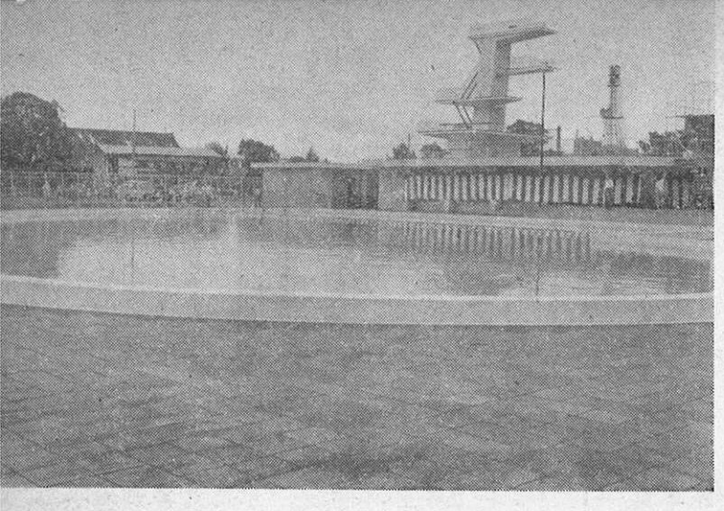
秋季大会開閉会式会場に決定した熊本市営陸上競技場は、目下熊本市において入退場出入口の改造を施工中である。メインスタンド及び観覧席は順次拡張改装をされる予定で、グラウンドの補修はすでに完了した。競技場裏の巾員二十米の輸送道路は健軍第一土地区画整理事業の一部施工として国体開催までに実現するよう目下市において計画中で、開閉会式運営に明るい希望がもたれている。

次に県立工業高校体育館、尚絅校体育館はすでに完成し、目下工事中の県立第一高校体育館は三月末日までに完成し、**弓道場**は横手町細川家北岡別邸に昨年十一月落成し後は大弓射場を建設するだけである。

硬式庭球場は目下新屋敷町に建設中でこの三月までに完成し、残余のコートは、熊大グラウンドに、熊大当局の協力により建設される予定である。また**ラグビー場**は湖東中学グラウンドに一面、健軍自衛隊に二面お願いしてあるが自衛隊のラグビー場はこの程起工式も終り工事も本格化してきている。**ライフル射撃場**も清水町自衛隊裏の旧米軍使用の射撃場にスモールボア及空気銃競技を予定し、その施設を自衛隊に依頼しており、**拳銃競技**は当初から大江町県警察学校内の射撃場に決定し今春から市で起工を準備している。

なお**硬式高校野球**は、熊本市宮内町熊大医学部附属病院藤崎台分院に県営野球場を建設することに決定し、設計も大体完了した。そして目下分院の移転のための準備を行つており、外苑整備工事も今年の六月には一応の施設が完成するように進めている。

野球場周辺は都市公園として整備し、総面積六三〇・六アール、野球場総面積二三二・二二アール、グラウンド面積一四五アールで、センターライン四〇〇呎、ファールライン三二五呎、本塁スタンドは鉄筋コンクリート造三階建の諸種施設を完備させ、サイドスタンドは、コンクリート床張、板張腰掛け二三段を設け、センタースタンドは土盛高四米の芝張傾斜面とし総収容人員二五、〇〇〇人とし、便所はすべて浄化槽水洗式としたもので、主要都市の野球場としての近代施設を充分具備したものと思われる。



——昨年竣工した県営熊本城プール——

荒尾市

荒尾市は三十三年度から綜合運動公園建設を企画し、最初に陸上競技場を建設し、これを**ホッケー競技場**として使用するが、現在グラウンド及スタンド等競技場は大体完成している。さらに国体開催までには選手控室、更衣室、便所等附属施設を設ける予定である。また、**一般準硬式野球場**を、同じ綜合運動公園の北端に現在建設中で、土盛工事の大半を終り、荒尾市は国体準備施設に全力を尽している。

玉名市

玉名市は、最も早く国体準備施設に着手して、県立玉名高校の運動場北端に**軟式庭球場**が立派に完成した。現在練習場の整備準備中で、また、**レスリング競技場**として、玉名中学、玉名農高体育館を使用することゝなり、玉中は現在の施設をそのまゝ使用し、玉農体育館は今春三月までに床張補修を完了する予定である。

山鹿市

山鹿市は**柔道競技**を、市立山鹿中学校で開催するが、その体育館を昨年五月着手し、すでに立派に完成した。目下市街地一帯の清掃、美化に、全市民一体となつて努力中であり国体開催への意欲はめざましいものがある。

菊池市

菊池市は、昔から**馬術**の盛んなところで、競技場も現在の中央公園を整備して開催する予定。目下その計画設計中で今年の四、五月頃から準備着手される。また**バドミントン**の開催も決定し、新市発展の一環として綜合運動施設が計画されている。そのため市営体育館を建設し、バドミントン主競技場として使用すべくすでに設計も完了しているが、スポーツセンターとしての文部省の補助金も決りすでに昨年末から工事が進められている。

阿蘇町

阿蘇町は**卓球競技**の開催を決定し、内牧中学校体育館の整備拡張を計画している。さらに国体準備に万全を期するため**観光施設・宿泊施設**の充実に、全町挙げて準備中である。

一の宮町

卓球競技は阿蘇町と会場を分けて、一般女子と高校女子競技を行うが、競技場は、現在の一の宮中学校の体育館を使用することになつている。

さらに**登山競技**は阿蘇山を中心として行われ、阿蘇郡全町村が主催することに決まり、阿蘇町、一の宮町、長陽村、高森町等阿蘇郡一体となつて準備態勢が進められている。すでに一の宮町仙酔峡に山小屋を建設中でかなりの進捗をみている。高岳山頂にも目下建設中でこの三月に完成される予定。そのため今春から指導標が建設されることになり、又、県登山協会役員は昨年の夏からコースの選定、施設の研究等熱心な努力を続け、観光施設の万全を期している。

長陽村

長陽村は、湯の谷に**クレー射撃競技**を開催することに決定し、その準備に力を入れている。現在の射撃場の隣りに九州産業交通株式会社で国体開催までには建設する予定だが、郷土選手の強化のためにも、一日も早く着工完成が望まれている。

御船町

バスケットボールは、熊本市と御船町とで開催を決定している。御船町は、御船中学体育館で一般女子の競技を行い、施

メモ

国体のはじまり

国民体育大会は、終戦後、国民の意気消沈を黙視するに忍びず、当局の中堅スポーツマンの提唱により、国民の気力を高揚しようと企てられたのがその起りであつて、昭和二十一年に第一回が開催されてから回を重ねること十四回、今や第十五回を迎えようとしている。

国体開催の趣旨は、広く国民の間にスポーツを振興してその普及発達とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、あわせて国民の健康を増進し、その生活を明確にしようというもの。